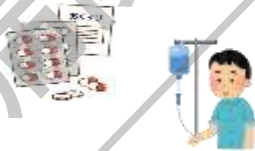


軽症 脳梗塞 患者さんパスシート (No.1)

氏名		診療科名	脳卒中集中治療科		
		入院予定期間	年	月	日

月日	/		
経過	入院 1 日目		
達成目標	- 手足が動かしづらい、頭痛や嘔気、めまいなどの症状が出た時はすぐに看護師に伝えましょう。 - 体が熱い、だるいなどいつもと違う症状を感じたらすぐに看護師に伝えましょう。 - 転倒・転落の危険性、予防方法について理解しましょう。		
薬	- お薬を内服されている方は、入院時にお薬手帳をお持ちいただくか、薬の内容を医師や看護師、薬剤師にお伝えください。 - 再発予防のため、抗血栓のお薬が開始となります。 24 時間点滴が開始になります。また、腎機能を確認して、脳を保護する点滴を 1 日 2 回（朝・夕）に行います。 		
検査	MRI、レントゲン、採血の検査があります。また、必要時、ベッドサイドで超音波の検査を行います。		
処置	必要があれば、深部静脈血栓症予防のため、着圧のストッキングを履きます。 		
観察	- 心臓の動きを観察するために、心電図モニターを 24 時間装着します。 - 体温、血圧（1 時間ごとに測定させていただきます）、脈拍、酸素飽和度、頭痛、嘔気、麻痺の増悪、瞳孔の大きさと反応、飲み込みづらさの有無、歩きの状態を観察します。		
排泄	排泄時は、ベッド上で尿器や便器を使用します。車いす可能であれば、車いすですぐに行きます。		
活動	症状が変動する可能性もあるため、ベッド上安静または、車いすまでとなります。		
食事	食事や飲水の開始は、飲み込みの状況を確認し、安全に、むせ込みがなく飲み込むことが確認出来てから開始となります。		
清潔	体を拭くお手伝いをします。		
説明指導	- 医師より、入院診療計画書、入院中に必要な検査治療に関する説明、脳卒中地域連携パスについての説明をします。 - 行動範囲が広がっている最中は転倒の可能性が高いため、転倒予防についての説明をします。 - マスクの着用、病室出入りの際には手指消毒の実施をお願いします。 		

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時お知らせしますのでご了承ください。

軽症 脳梗塞 患者さんパスシート (No.2)

氏名		診療科名	脳卒中集中治療科		
		入院予定期間	年	月	日

月日	/ ~ /	
経過	入院 2 日目	入院 3 日目
達成目標	- 手足が動かしづらい、頭痛や嘔気、めまいなどの症状が出た時はすぐに看護師に伝えましょう。 - 体が熱い、だるい、息苦しさ、痰が増えるなどの症状が出たらすぐに看護師に伝えましょう。 - 転倒・転落の危険性、予防方法について理解しましょう。 - リハビリスタッフと一緒にリハビリをしましょう。	
薬	- 再発予防のため、抗血のお薬を内服します。 24 時間点滴を行います。また、脳を保護する点滴を行っている場合は、1 日 2 回（朝・夕）に行います 	
検査	(/) の朝に採血の検査があります (/) に頭の MRI 検査があります。 	(/) に心臓の超音波検査があります。
処置	特にありませんが、必要時、説明させていただきます。	
観察	体温、血圧、脈拍、酸素飽和度、頭痛、嘔気、麻痺の増悪、瞳孔の大きさと反応、飲み込みづらさの有無、胸の音、痰の量や性状、歩きの状態を観察します。	
排泄	排泄時は、ベッド上で尿器や便器を使用します。車いす可能であれば、車いすですぐトイレに行きます。	
活動	検査などへの移動は、車いすで行きます。リハビリテーションでは、麻痺の状況を確認し、歩く練習をすることもあります。	
食事	飲み込みの状況を確認した後に、病院食が開始となります。病院食以外は禁止になります。詳細は医師や看護師にお尋ねください。 	
清潔	体を拭くお手伝いをします。	
説明指導	- 行動範囲が広がっている最中は転倒の可能性が高いため、転倒予防についての説明をします。 - 医師の指示により、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリを開始します。リハビリが開始の際には、リーフレットを使用して説明をします。 - マスクの着用、病室出入りの際には手指消毒の実施をお願いします。 	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時お知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2025 年 4 月作成

軽症 脳梗塞 患者さんパスシート (No.3)

氏名		診療科名	脳卒中集中治療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/ ~ /	
経過	入院 4 日目	入院 5~9 日目
達成目標	・ 手足が動かしづらい、頭痛や嘔気、めまいなどの症状が出た時はすぐに看護師に伝えましょう。 ・ 体が熱い、だるい、息苦しさ、痰が増えるなどの症状が出たらすぐに看護師に伝えましょう。 ・ リハビリを継続して行いましょう。 ・ 転倒・転落の危険性、予防方法について理解しましょう。	
薬	・ 再発予防のため、抗血栓のお薬を内服します。	
検査	・ (/) に 24 時間ホルター心電図の検査があります。	・ 特にありません。
処置	・ 特にありません。	
観察	・ 体温、血圧、脈拍、酸素飽和度、頭痛、嘔気、麻痺の増悪、瞳孔の大きさと反応、飲み込みづらさの有無、胸の音、痰の量や性状、歩きの状態を観察します。	
排泄	・ 集中治療室にいる場合は、車いすで移動します。麻痺や状況を確認し、付き添い歩行でトイレへ移動します。	
活動	・ 集中治療室にいる場合は、検査時なども車いすで移動します。 麻痺や状況を確認し、付き添い歩行を行っていきます。	
食事	・ 病院の食事以外は禁止になります。詳細は医師や看護師にお尋ねください。	
清潔	・ 一般病棟に移動後より、シャワーを浴びることができます。	
説明指導	・ 症状(手足が動かしづらい、頭痛や嘔気、めまいなど)の悪化がないことを確認後に、脳卒中集中治療室から一般病棟にお部屋が移動となります。 ・ 行動範囲が広がっている最中は転倒の可能性が高いため、転倒予防についての説明をします。 ・ 医師の指示により、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリを継続して実施します。 ・ マスクの着用、病室出入りの際には手指消毒の実施をお願いします。	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時お知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2025 年 4 月作成

軽症 脳梗塞 患者さんパスシート (No.4)

氏名		診療科名	脳卒中集中治療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/ ~ /	
経過	入院 10 日目	入院 11～13 日目
達成目標	・ 体が熱い、だるい、息苦しさ、痰が増えるなどの症状が出たらすぐに看護師に伝えましょう。 ・ 手足が動かしづらい、頭痛や嘔気、めまいなどの症状が出た時はすぐに看護師に伝えましょう。 ・ 再発予防のために、日常生活での注意点について理解しましょう。 ・ リハビリを継続して行いましょう。 ・ 転倒・転落の危険性、予防方法について理解しましょう。	
薬	・ 再発予防のため、抗血栓のお薬を内服します。	
検査	・ (/) 手足に血圧計を巻き、動脈硬化を調べる検査(ABI)があります。	・ 特にありません。
処置	・ 特にありません。	
観察	・ 体温、血圧、脈拍、酸素飽和度、頭痛、嘔気、麻痺の増悪、瞳孔の大きさと反応、飲み込みづらさの有無、胸の音、痰の量や性状、歩きの状態を観察します。	
排泄	・ 制限はありません。	
活動	・ 制限はありませんが、歩きの状況や麻痺の状況によっては車椅子や歩行器の使用や、看護師が付き添わせていただきます。	
食事	・ 病院食以外は禁止になります。詳細は医師または看護師にお尋ねください。	
清潔	・ シャワーを浴びることができます。	
説明指導	・ 行動範囲が広がっている最中は転倒の可能性が高いため、転倒予防についての説明をします。 ・ 医師の指示により、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリを継続して実施します。 ・ 「脳梗塞の方へ」のパンフレットを用いて、脳梗塞の原因、予防と日常生活について(食事・水分・内服・入浴・運動・外出や旅行・嗜好品・排泄)、再梗塞の症状について看護師が説明します。 ・ 日常生活に関しての注意点、心配や不安なことがある場合は遠慮なくお尋ねください。 ・ マスクの着用、病室出入りの際には手指消毒の実施をお願いします。 	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時お知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2025 年 4 月作成

軽症 脳梗塞 患者さんパスシート (No.5)

氏名		診療科名	脳卒中集中治療科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	入院 14 日目（退院日）
達成目標	・ 体が熱い、だるい、息苦しさ、痰が増えるなどの症状がある時はすぐに看護師に伝えましょう。 ・ 手足の動かしづらさが強くなった時はすぐに看護師に伝えましょう。 ・ 再発予防のために、日常生活での注意点について理解しましょう。 ・ 日常生活の動作をできるだけ自分でできるようにリハビリを継続しましょう。
薬	・ 再発予防のため、抗血栓のお薬を内服します。
検査	・ 特にありません。
処置	・ 特にありません。
観察	・ 体温、血圧、脈拍、酸素飽和度、頭痛、嘔気、麻痺の増悪、瞳孔の大きさと反応、飲み込みづらさの有無、胸の音、痰の量や性状、歩きの状態を観察します。
排泄	・ 制限はありません。
活動	・ 制限はありません。
食事	・ 病院食以外は禁止となります。詳細は医師または看護師にお尋ねください。
清潔	・ シャワーを浴びることができます。
説明指導	・ 「脳梗塞の方へ」のパンフレットを用いて、脳梗塞の原因、予防と日常生活について（食事・水分・内服・入浴・運動・外出や旅行・嗜好品・排泄）、再梗塞の症状について看護師が説明します。 ・ 日常生活に関する注意点、心配や不安なことがある場合は遠慮なくお尋ねください。 ・ 保険などの書類は、退院日に本館 1 階 A ブロックの受付窓口に提出してください(受付窓口は平日、土曜のみ利用可能です)。



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時お知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2025 年 4 月作成